

平成 23 年度技能検定 2 級着付け（着付け作業）実技試験問題 概要

【 1 】 試験時間

【 3 】 の持参品を使用して、ボディに訪問着又は付け下げ訪問着（二重太鼓）の着付けを行う。

【 2 】 試験時間

(検定委員による試験の説明 5 分)	
持参品及び服装の点検のための準備	5 分
(検定委員による受検者の持参品及び服装の点検 1 5 分)	
補整、長襦袢着付けのための準備	5 分
補整、長襦袢着付け	1 0 分
(検定委員による採点 1 0 分)	
着物着付け、帯結び	2 5 分
(検定委員による採点 2 5 分)	

【 3 】 受検者持参品

	名称	種類	数
モデル	ボディ	ボディの台から肩先まで 125 ~ 130cm ボディは会場での貸出は行わないので、必ず持参すること。	1
	着物	訪問着又は付け下げ訪問着（袷）	1
準備品	伊達衿（比翼衿も可）	無地 地紋、金又は銀は可であるが、スパンコールや刺繍などの装飾加工をしたもの又は二色使いのものは不可。	1
	長襦袢	ツーピース、衣紋抜き布付、紐通し付又は紐付は不可。 衿は、広衿、ばち衿又は棒衿。	1
	半衿	白無地の塩瀬	1
	衿芯	素材は自由。	1
	帯	袋帯	1
	帯締め	飾り物は不可。	1
	帯揚げ	素材は自由。	1
	肌着	肌襦袢、裾よけ。 ワンピースは可。	1
	腰紐	布製	5本以内
	伊達締め又は伊達巻	布製 金具付又はゴム入りは不可。	2本
	帯板	ゴム付は不可	1
	帯枕	窓枠なし（ガーゼ付は可）	1
	補整用タオル、ガーゼ、コットン	タオルは大き過ぎないもの（目安として 35cm × 85cm 位まで）。 ガーゼを 2 つ折りにして巻いてくることは可であるが、タオル、ガーゼ及びコットンをカット等加工して持参することは不可。	自由
	クリップ	持参は自由。 目盛付の場合は、目盛をテープ等で隠すこと。	4個以内
	ソーイングセット	持参は自由	1
	衣裳敷	たとう紙	1
衣裳箱又は風呂敷	形は自由	1	

上記のもの以外は持参しないこと。
持参品で違反があった場合は、受検できない場合があります。
着物、伊達衿（又は比翼衿）及び、長襦袢の衿とじは、試験場に入るまでに行ってくること。